6/28、初めて乗る航空会社です。今日からウズベキスタンを 12 日かけて周遊します。成田から飛び立った飛行機は長野を通って日本海に出て山陰沖を通過し韓国、中国、モンゴルとの国境線に沿って飛び、キルギスタンの上空を飛び 9 時間のフライトの結果ウズベキスタンの首都タシュケントに到着しました。ATM を利用して 5,000,000 スーをキャッシングして一月間無制限使い放題の SIM カードを 150,000 スーで購入しました。ホテルから迎えに来た運転手と連絡が取れず早速 SIM カードが役立ちました。

6/29、タシュケントから特急電車 Afrasiyob 号に乗り「青の都」と呼ばれるサマルカンドに向かいました。チケットはひと月前から発売され日本からネットで購入することができます。2 時間の列車の旅でしたが軽食が振舞われました。Taxi アプリ YandexGo で Taxi を呼んだら直ぐに来ました。行き先を入力すると車の種類ごとに金額が表示され種類を選択すると迎えに来る車番号が表示されます。自分のいる場所は GPS で分かるので入力不要です。実に便利なアプリです。駅に到着すると大勢の taxi 運転士がしつこく声をかけてきますが YandexGo で予約済みと伝えると引き下がります。また、明瞭会計ゆえ乗車時に料金を交渉する手間が減ります。Hilton はサマルカンドに 3 か所あり、入力を間違えたため別の Hilton に連れて行かれました。無事チェックインした後、グル・アミールを見物して昼食にシャシリク（串焼き）、サラダ、スープを摂りました。一人前の量がとても多い。食後、レジスタン広場のモスク群を見て回りました。実に美しい。気温が高く乾燥しているので水分を補給しながら休憩所があると腰掛けて、うたた寝をし、また見物というような調子で、ものすごく疲労を感じました。広場のライトアップも美しいようですが 21:00 から実施されると知り、YandexGo で Taxi を呼びホテルに戻りました。翌日、翌々日の観光のため車をチャーターしました。炎天下を歩いて観光するのはなかなか厳しいので冷房の効いた車の手助けを得ることにしました。夕食を摂りシャワーをして明日の準備をし、朝まで爆睡し

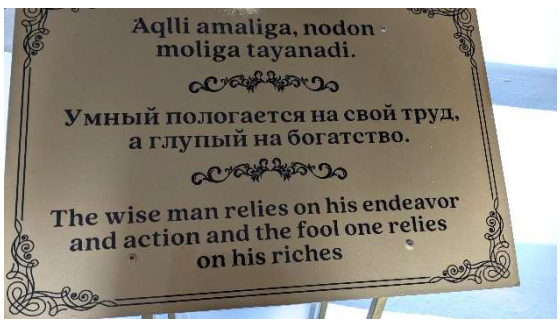
ました。

6/30、ホテルで朝食を済ませて 9:00 に迎車に乗りました。はじめに、イスラム教の聖者が埋葬されているシャーヒズィンダ廟群を訪れました。急な階段を上って行くと色鮮やかで繊細な変化に富んだサマルカンドブルーの景観に出会いました。次に、サマルカンドの町を展望することができるテラスのあるハズラティヒルズ・モスクを訪れました。次に、ティモールが残した中央アジア最大級のモスクであるビビハニム・モスクを訪れました。あまりに大きいので遠近法で上部が短く映っています。ショブバザールを見学後、昼食を摂るためブロフの専門店に案内して貰いました。大きな鍋に米や肉、ドライフルーツ、パプリカなどの具材を入れて、大きなおたまを使ってかき混ぜながら、水ではなく油で煮込んでいました。ローカルの大勢の客が美味しそうに食べていましたが、私にはご飯が固すぎて「メッカチご飯の油漬け」のように感じ殆ど食が進みませんでした。マレーシアやインドで多少固いインディ

カ米には慣れている私ですがこれほどの固さのご飯は初めてです。国王であり有能な天文学者であったウルグベクの業績を示すウルグベク天文台跡を訪れ、最後にアフラシャブ博物館を見学して本日の観光を終えました。日本人がオーナーシェフをしている店に行けば油っこくないものを食べられるかもしれないと期待し夕食のため出かけてラグマン（うどんのようにみえるもの）を食べましたがで、こちらは「うどんの油漬け」でした。

7/1、ホテルでゆっくり朝食を摂り 9:00 に迎車に乗ろうとして運転士と車が昨日と違うことを知りました。昨日乗ったヒュンダイの大きな車が故障したということでした。サスペンションが固く乗り心地が良くなかったのでシボレーのセダン車が来たことを内心嬉しく思いました。今日は 14 世紀にティムール朝を起こしたティムール生誕の地で世界遺産に登録されているシャフリサーブスまで約 1 時間半かけて行くこと

にしています。1 時間位走ったところに車をチェックする関所がありました。私たちの運転士は関所を通してもらえません。運転士は電話をしながら 20 分程もと来た道を戻り停車しました。彼は英語を話せません。そこで Google Translator が大活躍。日本語とウズベキ語の通訳をしてくれました。「運転免許証を忘れてきたのである人に持って来てもらうよう依頼した。15 分位待ってくれ。」ということでした。止むを得ません。「このことは会社に言わないでくれ！罰金が生じる。」と懇願されました。彼が免許証を受け取り小一時間ロスタイムの後、再出発。ティモールは大きいことを好んだそうですが建造遺跡は大きく往時の巨大さを想起することができます。広い敷地内を電気自動車で移動したので炎天下といえども比較的楽に見学することができました。ティムールの息子の棺が安置されているモスクに「賢者は努力と行動を頼りにし馬鹿者は富を頼りにする」というボードが掲載されていました。戻る途中に夕食用パンを購入しホテルの部屋で簡単に夕食を済ませてレジスタン広場の夜景を見に出かけました。Taxi をホテルに頼むと往復で$60（9,689 円）ということでした。YandexGo なら片道 22,000 スム（283 円）と格段に安いので YandexGo で手配しました。



7/2、YandexGo で手配した Taxi でサマルカンド駅に行き、特急電車 Afrasiyob 号に乗り

サマルカンドからブハラに向かいました。ブハラ駅からブハラの中心地まで車で 20 分程離れているのでここでも YandexGo を利用。駅のゲートを出ると大勢のドライバーが群がってきました。YandexGo で予約済みと言うと「YandexGo は良くない」「YandexGo で予約した車は向こうの方に来る」とかでたらめを言い、また法外な値段を吹っかけてきたりとか、とにかく煩わしい。予約した車に出会いホテルへ。チェックインを終えてホテルで教えてもらったレストラン”Old Bukhara”でラム料理、揚げナス、肉と野菜のスープを食べました。実に美味しかった。長居したくなる落ち着いた空間を提供するレストランです。この店は地球の歩き方にも紹介されています。ブハラは、その昔、中央アジアの文化の中心地として発展したところで庶民が住む泥煉瓦で組み立てられた一軒一軒の建物にも歴史の重みを感じます。そのような家が何軒も連なって迷路が構成されています。迷路を抜けると広場に出てそこには歴史的建造物がそびえています。地球の歩き方によるとサマルカンドを京都、ブハラを奈良に譬えており言い得て妙です。今日は簡単に観光することにして電動バギーに乗り名所を数か所案内してもらいホテルに戻りました。

7/3、ホテルで豪華な朝食を済ませて旧市街地の中心地まで歩いて行きました。そこで昨日

のバギーの運転士に偶然会い、英語を話さないけど今日も案内してもらうことにしました。お土産物屋が集まる一角にブハラ名物「こうのとり」のハサミを売っている店があったのでおみやげに名前入りのものを購入しました。途中に昼食をはさみ、モスク、メドレセ（僧房）、ミナレット（塔）、城跡などを見物しました。同行の福ちゃんと桃代が TV インタビューを受ける一幕もありました。終盤近くになって運転士と約束内容の理解に齟齬を生じていることが分かりもめましたが、Google Translator の助けを借り解決しました。明日の行動開始が早いので早めに観光を切り上げました。

7/4、ブハラ発 3:42 の寝台列車に乗って 6 時間以上かけてヒバに向かいました。このチケットを確保するには多少のノウハウを要します。寝台列車の場合、遠距離チケットはひと月前から発売されますが、短区間の発売は遅れます。ブハラーヒバ間の発売は遅れるので発売日を待っていたら満席になる可能性があります。そこで実際にはブハラから乗車しますが、少し手前のナヴォイ駅から乗車することにしてひと月前にチケットを購入しました。寝台列車ゆえ横になって移動したので楽をすることができました。この列車はよく眠れるようスピードをだしません、砂漠の中をゆっくり走ります。ホテルにチェックイン後、ローカルフードのレストランを紹介してもらい、美味しい昼食を摂り、炎天下の観光を開始しました。ヒバはブハラ同様オアシスであり中央アジアを代表する宗教都市でした。外壁に囲まれた広大なエリアに王宮、モスク、メドレセ、ミナレットが多数あります。チャーターした電動バギーに乗ってそれらを見物しました。高さ 45m、118 段のらせん階段がある大ミナレットを上り中世の面影を今に残す外壁に囲まれたエリアを一望することができました。

7/5、今日は車をチャーターしてヒバ郊外にある古代遺跡を見て回りました。何れも紀元前 3 世紀頃から 3 世紀頃まで使用されていたもののようです。建物は泥と藁を固めて作られています。城跡に登って望んだ 360℃の景観は圧巻でした。見物後ゲルの中でローカルフードを楽しみました。

7/6、今回のウズベキスタンの旅も終盤です。ヒバには空港がないのでウルゲンチまで Taxi で行って空路で西から東へ約 1,000ｋｍ移動し、振り出しのタシュケントに戻りました。飛行機の出発が 2 時間遅れましたが皆さん平然として待っていました。遅れることに慣れているのかもしれません。ホテルにチェックインして明日のナヴォイ劇場のチケットを購入する作業をしました。ナヴォイ劇場は終戦後日本人抑留者により建設されタシュケントの大地震にも耐え未だ現役として使用されています。ホテルに教えてもらったレストランまで 20 分ほど歩きました。炒めたラム肉、マスタバ（野菜、肉、米の雑炊）、サラダを美味しく頂きました。帰り道にローカルフルーツを販売している屋台を見かけました。迷子になりましたが警官とGoogle Mapの助けを得て無事ホテルに辿り着くことができました。タシュケントの人々は他の土地に比べて不愛想のようです。笑顔を見せると損をするとでも思っているのかな～　しかし、道順などを聞くと丁寧に教えてくれます。都会と地方の差かもしれない。

7/7、Taxi,　地下鉄、歩行によりタシュケントのバザール、博物館、劇場を回りました。チョルスーバザールではありとあらゆる日用品が販売されており日曜日のせいかもしれないけど混みあっていました。ドライフルーツやナッツ類がたくさん販売されておりここの人はそれらを多食するようです。中央アジア・プロフセンターに行き昼食を摂りました。びっくりするほど大きなレストランですけどメニューはプロフ（ピラフの原型）だけです。大鍋でプロフを作っているさまは壮観です。ご飯はやや硬いけど今回は美味しく感じました。地下鉄に乗って工芸博物館に行きました。歴史博物館は臨時休館でした。ティムール博物館にてティムールの業績とイスラム文化を学びました。ナヴォイ・オペラ劇場で歌や踊りを見物しました。80 年近く前に抑留された日本兵により作られた建造物が今もなお現地の人々に娯楽を提供する場として活用されています。公演を見て外に出ようとすると珍しく雨が降っていました。急に涼しくなったせいか腹痛を感じ近くのレストランの手洗いを拝借しました。YandexGo で Taxi を呼びことを 3 回試みましたけどうまくいきません。待っている場所を電話で伝えるのですが言葉が通じない。機転を利かして福ちゃんが先ほどのレストランのスタフの助力を得て無事 Taxi を拾うことができました。

7/8、ウズベキスタンの旅も最終日になりました。ムスリムが埋葬されている大きな霊園の一画に日本人戦没者が埋葬されています。そこは塵一つなきが如く清掃されています。地下鉄のホームが美しいと聞いていたのでいくつか見て回りました。やや豪華

な昼食を摂りながら今回の旅を振り返りました。お土産物屋に寄りホテルに Taxi で戻りました。日中は日差しが強く 35℃位あるので歩行は適しません。Taxi は日本の 1/10 位なので多用しました。長距離の移動は空路、中距離は列車、短距離は Taxi を利用しました。今から空港に行きます。クアラルンプール、コタキナバルを経由し明後日からひと月間ラナウで過ごすつもりです。

ウズベキスタンではホテルに宿泊すると「レギストラッツィヤ」と呼ばれる滞在証明書が発行されます。メモ用紙よりも小さなサイズの紙切れですが出国時に提示させられることがあるとのことゆえ失くさないようにする必要があります。現地通貨スムは ATM から引き出すことができます。出国時に余ったスムを両替することは極めて困難だという記事を読んだことがあるので必要な都度スムのキャッシングをするようにしました。しかし、1 万円に相当するスムが余ったので空港で買い物をすることにしていました。ところが簡単にドルに両替することができました。勿論、円に両替することもできます。

Batik air Malaysia の航空機に初めて乗ってクアラルンプールに行き同じ会社のフライトでコタキナバルに向かいました。LCC ですが同じ LCC の AirAsia より心地よく感じました。タシュケントからクアラルンプールまでのフライトでは食事が無料でした。クアラルンプールからコタキナバルの路線では有料でサーブされました。預託荷物は 30 ㎏までバンドルされています。機内は混みあっていたので人気があるのかもしれません。

今回のウズベキスタン旅行でスマホの威力を再認識しました。ウズベキスタンの一般の人は英語を話しません。彼らが常用する言葉はウズベキ語かロシア語であり、私は全く理解できませんが、Google Translator を介して意思疎通をすることができました。また、知らない土地を歩いていて何回か迷子になりましたが Google Map に助けられました。レストランを探すときにも重宝しました。タクシーアプリ YandexGo は大活躍をしてくれました。

実に便利なアプリです。Taxi 料金が安いので多用しました。YandexGo に目的地と車のタイプを入力すると料金と配車される車の番号および到着するまでの時間が表示されます。こちらのいる場所は GPS で分かるので入力する必要はありません。乗るたびに面倒な価格交渉をする必要もありません。明朗会計だしおよそ 10 分以内には Taxi が来ます。PC をネットに繋ぐときにホテルの wifi が芳しくなければスマホを wifi 代わりに使用しました。SIM カードが安いのでデータ量を気にせずに利用しました。きっとまだまだ便利なスマホの使い方があるのでしょうね！

以上

Itinerary for Uzbekistan

Plan on 19 May 2024

Date		X'portation	From		To		Place	Hotel
28-Jun	fri	Odakyu	Hon-Atsugi	5:40	Shinjuku	6:28	Tashkent	ART DELUXE HOTEL
		Limousine Bus	Shinjuku	6:45	Narita Terminal 1	8:30		
		HY 528 23kg+8kg	NRT	11:05	TAS	16:10		
29-Jun	sat	Train Afrasiyob	Tashkent	6:59	Samarkand	9:12	Samarkand / Shahrisabz	Hilton Garden Inn Samarkand Afrosiyob
		check-in, sightseeing in Samarkand						
30-Jun	sun	sightseeing in Samarkand						
1-Jul	mon	excursion to Shahrisabz						
2-Jul	tue	Train Afrasiyob	Samarkand	10:46	Bukhara	12:29	Bukhara	Komil Boutique Hotel
		check-in, sightseeing in Bukhara						
3-Jul	wed	sightseeing in Bukhara						
4-Jul	thu	Night Train	(Navoi) Bukhara	(2:25) 3:52	Khiva	10:28	Khiva / Ayaz Kala	Hotel New Star Khiva
		check-in, sightseeing in Khiva						
5-Jul	fri	excursion to Ayaz Kala						
6-Jul	sat	Taxi	Khiva	7:30	Urgench	8:40	Tashkent	ART DELUXE HOTEL
		HY 52 23kg+8kg	UGC	10:35	TAS	11:55		
		check-in, sightseeing in Tashkent						
7-Jul	sun	sightseeing in Tashkent						
8-Jul	mon	sightseeing in Tashkent						
9-Jul	tue	OD 752 30kg+7kg	TAS	23:30			KK	Jesselton
					KUL	11:00		
		OD 1006 30kg+7kg	KUL	18:00	BKI	20:40		

Tourists:Seiji and Momoyo Kobayashi, and Fukuko Kajihara

Uzbekistan Sightseeing Model Plan

12 days

We uses Uzbekistan Airways for the outbound flight and Batik Air Malaysia for the return flight. For long-distance travel within Uzbekistan, we uses trains and a plane, and for short-distance travel, we uses taxis.

6/28 **All the way to Uzbekistan**

AM From Japan to Tashkent on an Uzbekistan Airways direct flight.

evening Arrival in Tashkent

6/29 To Samarkand, the "Blue City"

6:52 Depart for Samarkand by the Afrasiyob

Train journey time: about 2 hours

9:12 Arrive in Samarkand — Drop the luggage at the hotel and start exploring the city.

11:00 Go'ri Amir P.18

On foot or by taxi

12:30 Lunch

14:00 Registon Maydoni P.10

It takes about 2 hours to explore the area.

16:30 Rest at the hotel

18:30 Visit the illuminated Registon Square

The night illumination is a must-see. If we are lucky, we can also see a projection mapping show.

19:30 Dinner

6/30 Sightseeing around Afrosiyob Hill

9:00 Shah-i Zinda Ensamble P.16

The divine value of Samarkand blue can be felt at Shah-i-Zinda Mausoleums and is one of the highlights of a tour of Samarkand, along with Registon Square.

11:00 Hazrat Xizr Masjidi P.61

This mosque was rebuilt in the 19th century, and the view of Samarkand from the terrace here is stunning.

11:45 Bibixonim Masjidi P.19

The largest in Central Asia, left behind by Timur, who loved huge structures. It doesn't take much time to tour the mosque, but you'll never forget the grandeur.

12:30 Siyob Bozori & Lunch P.20

In front of Bibixonim Masjidi you can enter Siyob Bozori immediately and take a lunch in or near the Bazaar, or on Tashkent Street.

15:00 Ulug'bek Observatoriyasi P.63

It's a little far from the Siyob Bozori, so we'll take a taxi.

About 10 minutes by taxi

16:15 Aflosiyob Museyi P.63

It was about a 15-minute walk from Ulug'bek Observatoriyasi, and if we have plenty of time, we should see Xo'ja Doniyor Maqbarasi along the way.

18:30 Visit the illuminated Go'ri Amir

A famous illuminated spot similar to the Registon Maydoni. Do not miss it.

19:30 Dinner

7/2 Start of Bukhara 1-day tour

10:46 Depart for Bukhara

Take the high-speed train, Afrasiyob to Bukhara.

Train journey time: about 2 hours

12:29 Arrival in Bukhara

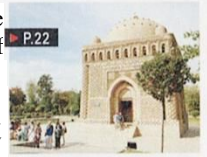
Bukhara's train station is located in the town of Kagan, so we'll take a taxi there.

About 20 minutes by taxi

13:10 Lunch near Labi Hovus

After dropping off our bags at the hotel, we had lunch in Labi Hovus, the center of town, which made it easy to continue on our sightseeing.

14:00 Walking around the historical center of Bukhara P.22



The sights are all within walking distance. Most of the souvenir shops are also located within the historical district. Let's enjoy sightseeing and shopping at our leisure!

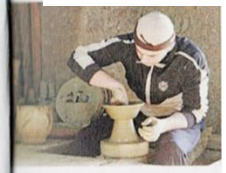
18:30 Visit the illuminated Kalon Masjidi

Bukhara is lit up all night, from dusk to dawn. Several historical sites are lit up, but one not to be missed is the Kalon Minaret.

19:30 Dinner

7/3 Enjoy Bukhara and its suburbs

Daytime Half-day tour of Gijduvan P.84 and a stroll around the historical center of Bukhara P.22



In the morning, take a taxi from Bukhara to Gijduvan. Visit the Gijduvan crafts. Enjoy a lunch of Uzbek cuisine. Return early in the afternoon and enjoy a leisurely tour of Bukhara before departure. Enjoy shopping for souvenirs!

7/4 Enjoy a full day in Khiva

3:52 Go to Khiva by night train — Since it is a sleeper train, we can lie down

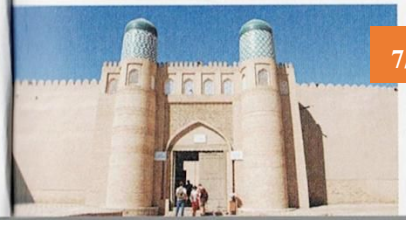
Train journey time: about 6.5 hours

10:28 Arrival in Khiva

11:30 Ichankala Sightseeing P.26

The main attractions in Khiva are located within Ichan Kala. There are restaurants and chaikhanas within Ichan Kala, so we can have lunch here during our free time while sightseeing.

19:00 Dinner



7/5 From Khiva to Ayaskala and other kala

We visit the Yurt Camp in Ayaz Kala and experience a little bit of nomadic life. Later, we see castle ruins on ancient roads.

7/6 Start of sightseeing in the capital Tashkent

7:30 Fly to Tashkent

There is no airport in Khiva, so we take a taxi to Urgench airport.

About 50 minutes by taxi

10:35 Departure from Urgench Airport

About 1.5 hours by plane

11:55 Arrive in Tashkent

Leave our luggage at the hotel and go sightseeing.

13:00 Lunch

There are many delicious restaurants and cafes around Oybek and Cosmonaut Hull subway stations.

14:00 History of Uzbekistan Museum and Navoi Opera House or Cheolsoo Bazaar? Or Japanese Cemetery, Hazratimam Square.

P.100～P.105

We have plenty of time in Tashkent so we'll take our time sightseeing.

16:30 Shopping in Oroi Bazaar and central Tashkent.

P.105、106～107

Both are great places to look for souvenirs.

7/7, 8 Sightseeing

23:30 Departure from Tashkent Airport

7/9 Arive in Japan or in Kota Kinabalu

7/1 From Samarkand Shahrisabz 1 day tour P.72

Timur's birthplace, Shakhrisabz, is registered as a world heritage site, and there are also many historical buildings not to be missed, such as the Ak-Saray Palace.